

聖大金曜日ノ晚課

定刻ニ及ビテ鐘ヲ撞ク。衆堂ニ集マリ、司祭祝讃シテ後晚課ヲ始ム、常例ノ如シ。

「主ヨ、爾ニ籲ブ」ニ六句ヲ立テテ、自調ノ讃頌ヲ歌フ。

第一調、ハリストスヨ、悉クノ造物ハ爾ガ十字架ニ懸レルヲ觀テ、畏懼ニ因リ

テ變ゼリ、日ハ晦ミ、地ノ基ハ震ヘリ、萬物ヲ造リシ者ト偕ニ萬物ハ苦メリ、甘

ジテ我等ノ爲ニ忍ビシ主ヨ、光榮ハ爾ニ歸ス。二次。

第二調、不虔不法ノ民ヨ、何爲レゾ徒ニ謀ル、何爲レゾ萬有ノ生命ヲ死ニ定メ

タル。大ナル哉奇蹟、世界ノ造成主ハ不法者ノ手ニ付サレ、人ヲ愛スル者ハ木

ノ上ニ擧ゲラル、地獄ニアル囚人、恒忍ナル主ヨ、光榮ハ爾ニ歸スト籲ブ者ヲ

釋カン爲ナリ。

言ヨ、無玷ナル童貞女ハ今日爾ガ十字架ニ擧ゲラルルヲ觀テ、母ノ情ヲ以テ

泣キ、大ニ心ヲ傷メ、靈ノ深處ヨリ痛ク歎キ、膺ヲ批チテ憂ヒテ呼ベリ、哀シイ

哉神聖ナル子ヤ、哀シイ哉世界ノ光ヤ、神ノ羔ヨ、何ゾ我が目ヨリ隠レタル故

ニ無形ノ軍ハ慄キテ曰ヘリ、測リ難キ主ヨ、光榮ハ爾ニ歸ス。

ハリストスヨ、種ナク爾ヲ生ミシ者ハ爾萬物ノ造成主及ビ神ガ木ニ懸レル
ヲ觀テ、悲シク呼ベリ、吾ガ子ヨ、爾ガ姿容ノ美シキハ何ニ隠レタル。我爾ガ非
義ニ十字架ニ釘セラルルヲ見ルニ忍ビズ、速ニ起キヨ、我モ爾ガ死ヨリノ三
日目ノ復活ヲ觀ン爲ナリ。

第六調

今日造物ノ主宰ハピラトノ前ニ立チ、萬有ノ造成主ハ甘ジテ羔ノ如

ク牽カレテ、十字架ニ付サレ、釘ヲ以テ釘セラレ、脅ヲ刺サル。マンナヲ雨ラシ
シ者ハ海絨ヲ以テ飲マセラレ、世界ヲ拯フ者ハ頬ヲ批タレ、萬物ノ造成主ハ
己ノ諸僕ヨリ嘲ラル。嗚乎、主宰ノ仁愛ヤ、釘スル者ノ爲ニ己ノ父ニ祈リテ曰
フ、父ヨ、彼等ニ此ノ罪ヲ免セ、蓋不法ノ者ハ如何ナル不義ヲ行ヘルヲ知ラズ。
光榮同調、嗚乎、不法ノ會ハ何如ニ諸恩ニ恥ヂズシテ造物ノ王ヲ死ニ定メタ
ル。主ハ之ヲ記念セシメテ、彼等ニ謂ヘリ、我ガ民ヨ、我何ヲカ爾等ニ爲シタル、
我奇蹟ヲ以テイウデヤヲ滿テシニアラズヤ、一言ヲ以テ死者ヲ復活セシメ
シニアラズヤ、諸病諸疾ヲ醫シシニアラズヤ、爾等何ヲ以テ我ニ報イタル、何
ゾ我ヲ記念セザル、醫治ニ代ヘテ我ニ傷ヲ加ヘ、生命ニ代ヘテ我ヲ死シ、我恩
者タル者ヲ惡者ノ如ク、立法者タル者ヲ不法者ノ如ク、萬有ノ王タル者ヲ定
罪セラレシ者ノ如ク、木ニ懸ケタリ。恒忍ノ主ヨ、光榮ハ爾ニ歸ス。

今モ、同調、今日畏ルベキ至榮ナル祕密ノ行ハルヲ見ル。觸レ難キ者ハ扼メ
ラレ、アダムヲ詛ヨリ釋キシ者ハ縛ラレ、心腹ヲ試ミル者ハ非義ニ試ミラレ、
淵ヲ閉ヂタル者ハ獄ニ閉ヂラレ、天軍ノ戰キテ前ニ立ツ所ノ者ハピラトノ
前ニ立チ、造物主ハ造物ノ手ニテ批タレ、生死者ヲ審判スル者ハ審判セラレ
テ、木ニ定メラレ、地獄ヲ壞ル者ハ墓ニ封ゼラル。慈憐ヲ以テ一切ヲ忍ビテ、衆
ヲ詛ヨリ救ヒシ寛容ノ主ヨ、光榮ハ爾ニ歸ス。

福音經捧持ノ聖入。「穩ナル光」。

提綱、第二十一聖詠、第四調、共ニ我ガ外衣ヲ分チ、我ガ裏衣ヲ鬪セリ。句 我ガ神
ヨ、我ガ神ヨ、我ニ聽キ給ヘ、何ゾ我ヲ遺テタル。

エギベトヲ出ヅル記ノ讀、第三十三章。

主ハモイセイイト面ヲ合セテ語リシコト、人ガ其友ト語レル如シ、後彼釋サレ
テ營ニ返リ、其侍者ナワシ、子イイス、少キ者ハ幕ヲ離レザリキ。モイセイ
主ニ謂ヘリ、視ヨ、爾我ニ謂フ、斯ノ民ヲ導キ上レ、然ルニ誰ヲカ我ト偕ニ遣サ
ンヲ未我ニ示サザリキ。爾嘗テ我ニ謂ヘリ、我衆ヨリモ爾ヲ識ル、爾我ノ前ニ
恩ヲ獲タリト、若シ我爾ノ前ニ恩ヲ獲タラバ、求ム己ヲ我ニ示セ、我ガ明ニ爾
ヲ見ン爲、爾ノ前ニ恩ヲ獲タル者トシテ在ラン爲、亦此ノ大ナル族ノ爾ノ民

一三

一二節

ナルヲ知ラン爲ナリ。主彼ニ謂ヘリ、我親ラ爾ノ前ニ往キ、爾ヲ平安ナラシメ
ン。モイセイ彼ニ謂ヘリ、爾若シ親ラ我等ト偕ニ往カズバ、我等ヲ此ヨリ出ス
母レ。我及ビ爾ノ民ガ爾ノ恩ヲ獲タルコトハ、如何ニシテ誠ニ知ルヲ得ベキ
カ、爾ガ我等ト偕ニ往クヲ以テスルニ非ズヤ、然ラバ我及ビ爾ノ民ハ凡ソ地
ニ在ル諸民ニ超エテ光榮ヲ獲ン。主ハモイセイニ謂ヘリ、爾ガ言ヒシ此ノ事
ヲモ、我行ハン、蓋爾ハ我ノ前ニ恩ヲ獲タリ、我衆ヨリモ爾ヲ識ル。モイセイ曰
ヘリ、求ム、爾ノ光榮ヲ我ニ示セ。主曰ヘリ、我我ガ光榮ヲ爾ノ前ニ過ギシメ、主
ノ名ヲ爾ノ前ニ宣ベン、我惠マントスル者ヲ惠ミ、憐マントスル者ヲ憐ム。又
曰ヘリ、爾ハ我ガ面ヲ覲ルコト能ハズ、蓋人我ガ面ヲ覲テ、猶生クルヲ得ズ。主
曰ヘリ、視ヨ、我ニ此ノ所アリ、爾此ノ磐ノ上ニ立テ、我ガ光榮ノ過グル時、我爾
ヲ磐ノ穴ニ置キ、我ガ過ギ去ルマデ、手ヲ以テ爾ヲ蔽ハン、我ガ手ヲ除ク時ハ、
爾我ガ背ヲ視ン、我ガ面ハ爾ニ現レザラン。

提綱第三十四聖詠第四調 主ヨ、我ト争フ者ト争ヒ、我ト戰フ者ト戰ヒ給ヘ。句

盾ト甲トヲ執リ、起チテ我ヲ助ケ給ヘ。

イオフ書ノ讀。第四十二章。

主ハイオフノ終ヲ祝福セシコト、其始ニ過ギタリ、彼ノ家畜ハ、綿羊一萬四千、

四三

駱駝^{ラクダ}六千^{ロクセン}牛^{ウシ}一千^{イツセン}耦^グ牡^メ驢^ロ馬^バ一千^{イツセン}アリキ。彼^{カレ}ニ男子^{ナンシ}七^{シチ}人^{ニン}女子^{ニョシ}三^{サン}人^{ニン}生^{ウマ}レタリ。彼^{カレ}ハ

第一^{ダイイチ}女^メヲ畫^{ヒル}ト名^ナヅケ、第二^{ダイニ}ヲカシヤト名^ナヅケ、第三^{ダイサン}ヲアマルスヤノ角^{ツノ}ト名^ナヅ

ケタリ。天下^{テンカ}ノ中^{ウチ}イオフノ女^メノ若^ヤク美^ミシキハアラザリキ、父^チハ彼^{カレ}等^ラニ其^{ソノ}兄弟^{ケイワ}

ノ間^{アイダ}ニ産業^{サンギョウ}ヲ與^{アタ}ヘタリ。イオフ病^{ヤミ}ノ後^{ノチ}一^{イツ}百^{ヒャク}四^シ十^{ジュウ}年^{ネン}生存^{セイオン}セリ、其^{ソノ}年^{トシ}總^{スベ}テ二^ニ百^{ヒャク}四^シ

十八^{ジッパチ}年^{ネン}ナリキ、彼^{カレ}ハ其^{ソノ}子^コ、其^{ソノ}子^コノ子^コヲ見^ミテ、四^シ代^{ダイ}ニ及^{オヨ}ベリ。斯^カクイオフハ年^{トシ}老^オイ、

日^ヒ滿^ミチテ死^シシタリ。

イサイヤノ預言書ノ讀。第五十二、至五十四章。

一三節

主^{シュ}是^カクノ如^ゴク言^イフ、視^ミヨ、我^{ワレ}ノ僕^{ボク}ハ善^{ヨク}ク進^スミ、升^{ノボ}リ、舉^{アガ}リテ、甚^{ハナハタ}高^{タカ}クナラン。多^{オホ}クノ

者^{モノ}ガ爾^{ナニデ}ヲ見^ミテ驚^{オドロ}キタル如^ゴク、蓋^{ケダシ}其^{ソノ}面^{オモテ}ハ損^{ソコナ}ハレシコト、凡^{オヨソ}ノ人^{ヒト}ニ逾^{オホ}エ、其^{ソノ}容^{カタチ}ハ損^{ソコナ}

ハレシコト、人^{ヒト}ノ諸^{シヨ}子^シニ逾^{オホ}エタリ、是^カクノ如^ゴク彼^{カレ}ハ多^{オホ}クノ民^{タミ}ヲ驚^{オドロ}カサン、諸^{シヨ}王^{ワウ}

ハ彼^{カレ}ノ前^{マヘ}ニ其^{ソノ}口^{クチ}ヲ緘^{フシ}マン、蓋^{ケダシ}彼^{カレ}等^ラハ未^{イマダ}曾^{カツ}テ彼^{カレ}等^ラニ言^イハレザリシ事^{コト}ヲ見^ミ聞^キカ

ザリシ事^{コト}ヲ知^シラン。主^{シュ}ヨ、誰^{タレ}カ我^{ワレ}等^ラヨリ聞^キキシ事^{コト}ヲ信^{シン}ジタル、主^{シュ}ノ臂^{ヒヂ}ハ誰^{タレ}ニカ

顯^{アラハ}レタル。蓋^{ケダシ}彼^{カレ}ハ其^{ソノ}前^{マヘ}ニ出^イデシコト、萌^{メバユ}芽^エノ如^ゴク、燥^{カウ}キタル地^チヨリ發^{ハツ}スル根^ネノ

如^ゴシ、彼^{カレ}ノ中^{ウチ}ニハ姿^{スガタ}容^{モナク}威^イ嚴^{ゲン}モナシ、我^{ワレ}等^ラ彼^{カレ}ヲ見^ミシニ、其^{ソノ}中^{ウチ}ニ我^{ワレ}等^ラヲ慕^{シタ}ハ

シムル美^ミシキ貌^{カタチ}ナカリキ。彼^{カレ}ハ人^{ヒト}人^{ビト}ニ藐^{アチド}ラレ、棄^ステラレ、憂^{ウレヒ}愁^ヒノ人^{ヒト}ニシテ、苦^{クルシ}ニ

習^{ナラ}ヘリ、我^{ワレ}等^ラ面^{オモテ}ヲ彼^{カレ}ヨリ避^サケタリ、彼^{カレ}輕^{カロン}ゼラレテ、我^{ワレ}等^ラ彼^{カレ}ヲ尊^{タツト}バザリキ。然^{シカ}レド

四三

二一節

一五

一三節

一七六五

モ彼ハ我等ノ恙ヲ任ヒ、我等ノ病ヲ負ヒタリ、我等意ヘラク、彼ハ神ヨリ撻
 レ、罰セラレ、卑クセラレタリト。然レドモ彼ハ我等ノ罪ノ爲ニ傷ツケラレ、我
 等ノ不法ノ爲ニ苦シメラレタリ、其身ニ受ケシ罰ニ因リテ我等平安ヲ獲、其
 傷ニ因リテ我等醫サレタリ。我等皆羊ノ如ク迷ヒ、各轉ジテ其途ニ往ケリ、主
 ハ我等衆人ノ罪ヲ彼ニ任ハシメタリ。彼ハ苦シメラレタレドモ、甘ジテ苦ヲ
 受ケテ、其口ヲ啓カザリキ、彼ハ羊ノ如ク屠ラレン爲ニ牽カレタリ、羔ガ其毛
 ヲ翦ル者ノ前ニ在リテ聲ナキガ如ク、彼ハ此クノ若ク其口ヲ啓カズ、其卑賤
 ニ居ル時、彼ニ於ケル裁判ハ行ハレタリ、然レドモ其來歴ハ孰カ能ク之ヲ解
 カン、蓋彼ノ生命ハ地ヨリ取ラル、我が民ノ罪惡ノ爲ニ彼刑ヲ受ケタリ。其墓
 ハ犯罪者ト偕ニ設ケラレタレドモ、彼ハ富メル者ノ處ニ葬ラレタリ、蓋彼ハ
 罪ヲ行ハズ、其口ニハ虚僞ナカリキ。彼ヲ撃ツコト主ノ旨ニ適ヘリ、主ハ彼ヲ
 苦ニ付セリ、然レドモ彼ノ靈贖罪ノ祭ヲ獻ズルニ迫ビテ、彼其苗裔ノ永續ス
 ルヲ見、主ノ旨ハ彼ノ手ニ由リテ利達セン。彼ハ己ノ靈ノ功勞ヲ見テ満足
 セン、彼我が義ナル僕ハ、彼ヲ知ル知識ニ由リテ、多クノ者ヲ義ト爲シ、彼等ノ
 罪ヲ任ハン。故ニ彼ハ多クノ者ヲ繼ギ、強キ者ノ獲物ヲ分タン、蓋其靈ヲ死ニ
 付シ、犯罪者ト偕ニ算ヘラレタリ、彼ハ多クノ者ノ罪ヲ任ヒ、罪人等ノ爲ニ轉

一節

達者ト爲レリ。妊マズ、生マザル者、樂シメ、産ニ苦シマザル者、聲ヲ揚ゲテ呼ベ、
蓋棄テラレタル婦ハ、夫アル者ニ較ブレバ、更ニ多クノ子アリ。

使徒ノ提綱、第八十七聖詠、第六調、我ヲ深キ坎ニ、闇冥ニ、淵ニ置ケリ。主我が

救ノ神ヨ、我晝夜爾ノ前ニ呼ブ。使徒ノ誦讀ハコリント書百二十五端、「兄弟ヨ、

十字架ノ言ハ、滅ブル者ノ爲ニハ愚ナリ」終、何ヲモ知ラザランコトヲ定メタリ。

「アリルイヤ」第一調、神ヨ、我ヲ救ヒ給ヘ、蓋水ハ我が靈ニマデ至レリ。爾ハ我

ノ心ヲ裂キ、我が疲ハ極レリ。句、願ハクハ彼等ノ目ハ昏ミテ見ルヲ得ザラン。

福音經ハマトズイ百十端、「彼ノ時司祭諸長ト民ノ長老等ト皆相會シテ終、墓

ニ對ヒテ坐セリ。次ニ常例ノ聯禱、「我等皆靈ヲ全ウシテ曰ハン其後」主ヨ、我等

ヲ守リ、罪ナクシテ此ノ晩ヲ度ラセ給ヘ。又聯禱、「我等主ノ前ニ吾ガ晩ノ禱ヲ

増シ加ヘン」。

高聲ノ後ニ、挿句ノ讚頌四章ヲ歌フ。第二調。

ハリストスヨ、アリマズイハ爾萬有ノ生命ヲ死者トシテ木ヨリ下シ、沒藥ト

布トヲ以テ爾ヲ裹ミ、愛ニ憐メラレテ、心ト口トヲ以テ爾ノ朽チザル體ニ接

吻セリ。然レドモ畏懼ニ支ヘラレテ、喜ビテ爾ニ籲ベリ、人ヲ愛スル主ヨ、光榮

ハ爾ノ寬容ニ歸ス。

句主ハ王タリ、彼ハ威嚴ヲ衣タリ。

衆ノ贖罪主ヨ、爾ガ衆ノ爲ニ新ナル墓ニ置カレシ時、辱シメラレタル地獄ハ
爾ヲ見テ懼レ、柱ハ折カレ、門ハ破ラレ、柩ハ啓カレ、死者ハ起キタリ。其時アダム
ハ感謝ノ心ヲ懷キ、喜ビテ爾ニ籲ベリ、人ヲ愛スル主ヨ、光榮ハ爾ノ寛容ニ歸ス。』
故ニ世界ハ堅固ニシテ動カザラン。

ハリストスヨ、爾ハ神ノ性ニテハ形ラレズ限ラレザル者ニ留マリテ、肉體ヲ
以テ甘ジテ墓ニ閉ヂラレシ時、死ノ庫ヲ閉ヂ、地獄ノ國ヲ悉ク空シクセリ。其
時爾ハ此ノ「スボタ」ニモ神聖ナル祝福ト光榮ト光明トヲ被ラセ給ヘリ。
句主ヨ、聖德ハ爾ノ家ニ屬シテ永遠ニ至ラン。

ハリストスヨ、天軍ハ爾ガ不法者ヨリ惑ハス者ト誣ヒラレ、爾ノ朽チザル脅
ヲ刺シタル手ニテ墓ノ石ノ封ゼラレシヲ見テ、爾ノ言ヒ難キ恒忍ニ驚キ畏
レタリ。然レドモ我等ノ救ノ爲ニ喜ビテ爾ニ籲ベリ、人ヲ愛スル主ヨ、光榮ハ
爾ノ寛容ニ歸ス。

光榮、今モ、第五調。

イオシフハニコラムト偕ニ爾光ヲ衣ノ若ク衣ル者ヲ木ヨリ下シテ、爾ガ死
シ裸ニシ葬ラレザルヲ見テ、善心ニ痛ク歎キテ、泣キテ曰ヘリ、嗚呼哀シイ哉

至愛ナルイイススヨ、日ハ爾ガ十字架ニ懸レルヲ見テ、忽黑暗ニ覆ハレ、地ハ
 畏懼ニ因リテ震ヒ、殿ノ幔ハ裂ケタリ。然レドモ視ヨ、我今爾ガ我ガ爲ニ甘ジ
 テ死ヲ受ケシヲ見ル。吾ガ神ヨ、我何如ニ爾ヲ葬リ、或ハ何如ナル布ヲ以テ爾
 ナ裏マン。洪恩ナル者ヨ、我何如ナル手ヲ以テ爾ノ朽チザル身ニ觸レン、或ハ
 何如ナル歌ヲ以テ爾ノ逝世ヲ歌ハン。我爾ノ苦ヲ崇メ讃メ、爾ノ歛瘞ト復活
 トヲ讃メ歌ヒテ籲ブ、主ヨ、光榮ハ爾ニ歸ス。

〔此ノ讃頌ヲ歌フ時、輔祭ハ蠟燭ヲ持チ、司祭ハ香爐ヲ執リテ、寶座ニ置
 カレタル主ノ就寢聖像ノ前ニ爐儀ヲ行ヒテ、三次之ヲ匝ル。〕

次ニ「主宰ヨ、今爾ノ言ニ循ヒテ、爾ノ僕ヲ釋シ」聖三祝文。「天ニ在ス」ノ後、

讃詞ヲ歌フ。第二調。

尊キイオシフハ爾ノ潔キ身ヲ木ヨリ下シ、淨キ布ニ裹ミ、香料ニテ覆ヒ、新ナ
 ル墓ニ藏メタリ。

〔之ヲ歌フ時、司祭ハ輔祭ト共ニ主ノ就寢聖像ヲ捧戴シテ、至聖所ヨリ
 王門ヲ過リテ堂中ニ出シ、之ヲ柩案ニ置キ、其上ニ福音經ヲ載セ、復爐
 儀ヲ行ヒテ、三次之ヲ匝ル。後伏拜シテ、之ニ接吻ス。〕

他ノ讃詞

天使^{テンシ}ハ香料^{カウレウ}ヲ攜^{タツサ}フル女^{メナ}ニ墓^{ハカ}ノ側^{カタハラ}ニ現^{アラハ}レテ籲^ヨベリ、香料^{カウレウ}ハ死者^{シニヤ}ニ適^{カタ}フ、ハリス

トスハ朽^{クワ}壞^{クワイ}ニ與^{アツカ}ラズ。
睿智^{レイチ}并^{ナニ}ニ發放^{フツツ}詞^ジ。

聖大金曜日ノ晩堂小課

其中ニ主ガ十字架ニ釘セラレシ事及ビ至聖生神女ノ哭泣ノ詞ノ規程^{カキ}ヲ歌フ。シメオンロゴストノ作。イルモス二次讚詞^ト四句ニ。後ニイルモス、兩詠隊共ニ。第六調。

第一歌頌

イルモス、イズライリハ陸^{クガ}ノ如ク淵^{フチ}ヲ蹈^フミ渡^{ワタ}リ追^オヒ詰^ツメシフラオンノ溺^{オボ}ルルヲ見^ミテ呼^ヨベリ、凱歌^{カチウタ}ヲ神^{カミ}ニ奉^{タテマツ}ラン。

附唱^{フシヤウ}、我等^{ワレラ}ノ神^{カミ}ヨ、光榮^{クワウエイ}ハ爾^{ナニダ}ニ歸^キス、光榮^{クワウエイ}ハ爾^{ナニダ}ニ歸^キス。
潔^{イサギヨ}キ童貞^{ドウテイ}女^{メナ}ハ其子^{ソコ}及ビ主^{シユ}ガ十字架^{ジツジカ}ニ懸^カリタルヲ見^ミテ、痛^{イタ}ク哀^{カナ}シミテ籲^ヨビ、他^タ

ノ婦ト偕ニ泣キテ語レリ。

潔キ者言ヘリ、吾ガ至愛ノ子、吾ガ慈ム者ヨ、我今爾ガ十字架ニ懸レルヲ見テ、心痛ク刺サル。求ム、至善ノ主ヨ、爾ノ婢ニ言ヲ予ヘ給ヘ。

光榮、童貞女ハ愛スル所ノ門徒ト偕ニ十字架ノ傍ニ立チテ言ヘリ、吾ガ子及ビ造成主ヨ、爾ハ自由ニシテ木ノ上ニ苦シキ死ヲ忍ビ給フ。

今モ、潔キ者ハ泣キテ言ヘリ、我今吾ガ恃頼ト喜悅ト歡樂タル我ガ子及ビ主ヲ奪ハレタリ、嗚呼哀シイ哉、我が心傷メリ。

第三歌頌

イルモス、爾ガ信者ノ角ヲ高ウシ、我等ヲ爾ガ承認ノ石ニ堅メシ仁慈ノ主、吾ガ神ヨ、爾ト均シク聖ナルハナシ。

童貞女ハ號泣シテ言ヘリ、イウデヤ人ヲ懼ルルニ因リテ、ペトルハ隠レ、信者ハ皆ハリストスヲ遺テテ奔レリ。

吾ガ子ヨ、爾ガ畏ルベク驚クベキ降生ニ因リテ、我悉クノ母ヨリ大ナル者トセラレタリ。然レドモ哀シイ哉、今爾ヲ木ノ上ニ見テ心ヲ燬ケリ。

光榮、潔キ者言ヘリ、我ハ吾ガ嬰トシテ抱キシ此ノ手ヲ以テ、吾ガ至愛ノ者ヲ木ヨリ受ケンコトヲ欲スレドモ、嗚呼哀シイ哉、之ヲ與フル者ナシ。

今モ、童貞女ハ嘆キテ言ヘリ、視ヨ、我ノ冀望及ビ至善ナル生命、我ノ神、我ノ愛スベキ光ハ十字架ニ滅エタリ、我心ヲ燬ケリ。

第四歌頌

イルモス、尊キ教會ハ淨キ心ヨリ主ノ爲ニ祝ヒ、神ニ適ヒテ呼ビ歌フ、ハリス

トスハ吾ガ力ト神ト主ナリ。
潔キ者ハ泣キテ言ヘリ、入ラザル日、永久ノ神、萬物ノ造成者、主ヨ、爾何如ゾ十字架ニ苦ヲ忍ビ給フ。

婚姻ヲ識ラザル者ハ尊キ者ニ向ヒテ泣キテ曰ヘリ、イオシフヨ、急ギテピラトニ就キ、爾ノ師ヲ木ヨリ下サンコトヲ求メヨ。

光榮、イオシフハ至淨ノ者ノ痛ク涙ヲ流スヲ見テ、心ヲ擾シ、泣キテピラトニ就キ、涕泣シテ呼ベリ、我ガ神ノ體ヲ我ニ與ヘヨ。

今モ、童貞女ハ母トシテ號泣シテ言ヘリ、吾ガ子ヨ、我爾ガ傷ツケラレ、辱シメラレ、裸ニシテ木ノ上ニ在ルヲ見テ、心ヲ燬ケリ。

第五歌頌

イルモス、至仁ナル神ノ言ヨ、切ニ祈ル、爾ニ朝ノ祈禱ヲ奉ル者ノ靈ヲ爾ガ神ノ光ニテ照シテ、爾罪ノ暗ヨリ呼ビ出ス眞ノ神ヲ識ラシメ給ヘ。

イオシフハニコラムト偕ニ痛ク哀シミ、泣キ、且驚キテ、至リテ潔キ體ヲ下シテ、之ニ接吻シ、號泣悲歎シテ、彼ヲ神トシテ歌ヘリ。

夫ヲ識ラザル母ハ哭キテ彼ヲ受ケ、其膝ニ置キ、涙ト共ニ彼ニ祈リ、且接吻シ、痛ク號泣シテ籲ベリ。

光榮、主宰吾ガ子及ビ神ヨ、爾ノ婢ハ爾ヲ惟一ノ冀望ト生命ト其目ノ光トシテ有チシガ、今ハ吾ガ最甘キ至愛ノ子ヨ、我爾ヲ奪ハレタリ。

今モ、潔キ者ハ痛ク泣キテ曰ヘリ、嗚呼哀シイ哉、傷感ト憂愁ト慨歎トハ我ニ及ベリ、吾ガ至愛ノ子ヨ、我爾ヲ裸ニシテ遺テラレ、香料ヲ傳ケラレタル死者トシテ見ルニ因ル。

第六歌頌

イルモス、誘惑ノ猛風ニテ浪ノ立チ揚ル世ノ海ヲ觀テ、爾ノ穩ナル港ニ着キテ呼ブ、憐深キ主ヨ、我ガ生命ヲ淪滅ヨリ救ヒ給ヘ。

至淨ノ者ハ曰ヘリ、人ヲ愛スル主ヨ、我爾死者ヲ活カシ、萬有ヲ保テル者ノ死者タルヲ見テ、心痛ク刺サル。願ハクハ我爾ト偕ニ死ナン、蓋爾ガ氣息ナクシテ死者タルヲ見ルニ忍ビズ。

至善ナル神、至仁ナル主ヨ、我爾ガ榮ナク、氣ナク、姿容ナキヲ見テ驚キ、爾ヲ抱

キテ泣ク、嗚呼、哀シイ哉、吾ガ子、吾ガ神ヨ、我此クノ如ク爾ヲ見ント意ハザリキ。

光榮、潔キ者ハ哀シミ泣キテ、其主ノ體ニ接吻シテ曰ヘリ、神ノ言ヨ、爾ノ婢ニ言ヲ言ハザランカ、主宰ヨ、爾ヲ生ミシ者ヲ憐マザランカ。

今モ、主宰ヨ、我爾ノ婢ハ曩ノ如ク復爾ノ甘キ聲ヲ聞カズ、爾ノ顔ノ美シキヲ見ザラント意フ、蓋吾ガ子ヨ、爾ハ我ガ目ヨリ隠レタリ。

小讚詞、第八調。

皆來リテ、我等ノ爲ニ十字架ニ釘セラレシ者ヲ歌ハン、蓋マリヤハ彼ヲ木ノ上ニ觀テ云ヘリ、爾十字架ヲ忍ベドモ、我ノ子及ビ我ノ神ナリ。

同讚詞

牝羊ハ其羔ガ屠戮ニ牽カルヲ見テ、マリヤハ痛ク愁シミテ、他ノ婦ト偕ニ後ニ隨ヒテ、斯ク籲ベリ、子ヨ、何ニ往クカ、何爲レゾ疾ク進ム、豈ガリレヤノ力ナニ復婚筵アリテ、爾今彼處ニ急ギテ、彼等ノ爲ニ水ヨリ酒ヲ成サントスルカ、子ヨ、我爾ト偕ニ往カンカ、或ハ爾ヲ俟タンカ、言ヨ、我ニ言ヲ與ヘヨ、我ヲ淨ク守リシ者ヨ、默シテ我ヲ過グル母レ、蓋爾ハ我ノ子及ビ我ノ神ナリ。

第七歌頌

イルモス、天使ハ敬虔ナル少者ノ爲ニ爐ニ露ヲ出サシメ、ハルデヤ人ヲ焚ク
 神ノ命ハ苦シムル者ニ籲バシメタリ、吾ガ先祖ノ神ヨ、爾ハ崇メ讃メラル。
 吾ガ子吾ガ神ヨ、昔ノ福音ガウリイルガ我ニ告ゲシ者ハ安ニカ在ル、彼ハ爾
 ヲ王ト名ヅケ、至上ノ神ノ子ト名ヅケタリ。今ハ我ガ最甘キ光ヨ、我爾ヲ裸ナ
 ル傷ツケラレタル死者トシテ見ル。

諸病ヲ醫ス吾ガ子吾ガ神ヨ、今我ヲ爾ト偕ニ接ケヨ、主宰ヨ、我モ爾ト偕ニ地
 獄ニ下ラン爲ナリ。我一人ヲ遺ス母レ、蓋我爾我ガ最甘キ光ヲ見ズシテハ、復
 生クルニ忍ビズ。

光榮、無玷ナル者ハ他ノ攜香女ト偕ニ痛ク泣キテ、ハリストスノ昇カルルヲ
 見テ曰ヘリ、嗚呼哀シイ哉、我ガ見ル所ハ何ゾヤ、吾ガ子ヨ、爾今何ニ往キテ、我
 一人ヲ遺ス。

今モ、無玷ナル者ハ弱リテ、泣キテ攜香女ニ謂ヘリ、我ト偕ニ嘆キテ、痛ク哭ケ、
 蓋視ヨ、我ノ最甘キ光、爾等ノ師ハ墓ニ付サル。

第八歌頌

イルモス、ハリストスヨ、爾ハ敬虔ナル者ノ爲ニ焰ヨリ露ヲ注ギ、義人ノ祭ノ
 爲ニ水ヨリ火ヲ出セリ、爾ハ一ノ望ニテ萬事ヲ行ヒ給ヘバナリ、我等爾ヲ萬

世ニ讃メ揚グ。

イオシフハ童貞女ノ哭クヲ見テ、心裂カレテ、哀シク籲ベリ、嗚呼、我が神ヨ、我

爾ノ僕ハ何如ニシテ今爾ヲ瘞ラン、何如ナル布ヲ以テ爾ノ體ヲ裹マン。

爾萬物ヲ持ツ主ノ奇異ナル光景ハ智慧ニ超ユ、イオシフハ爾ヲ死者トシテ

其手ニ取り、ニコゾムト偕ニ昇キテ瘞ル。

光榮童貞女ハ其子及ビ主ニ籲ベリ、我奇異ニシテ至榮ナル奧義ヲ見ル、何如

ニシテ爾命ヲ以テ死者ヲ其墓ニ起ス者ハ卑シキ墓ニ置カルル。

今モ、我が子ヨ、我爾ノ婢ハ爾ノ墓ヨリ起クルコトヲモセズ、涙ヲ流スコトヲ

モ息メズシテ、我モ地獄ニ下ルニ至ラン、我が子ヨ、爾ニ別ルルヲ忍ブ能ハザ

レバナリ。

第九歌頌

イルモス、天使ノ品位スラ見ルヲ得ザル神ハ、人見ル能ハズ、惟爾至淨ノ者ニ

依リテ人體ヲ取りシ言ハ、人人ニ顯レ給ヘリ。我等彼ヲ崇メテ、天軍ト偕ニ爾

ヲ讃メ揚グ。

無玷ナル者ハ泣キテ曰ヘリ、喜ハ今ヨリ永ク我ニ觸レザラン、我ノ光、我ノ喜

ハ墓ニ入りタリ、然レドモ我ハ彼一人ヲ遺サズ、此處ニ死シテ、彼ト偕ニ瘞ラ

レン。

至^シ淨^{ジヤウ}ノ者^{モノ}ハ涙^{ナミダ}ヲ流^{ナガ}シテ呼^ヨベリ、我^ワガ子^コヨ、今^{イマ}我^ワガ靈^{タマシヒ}ノ傷^{キズ}ヲ醫^イセ、復^{フク}活^{クワツ}シテ、我^{ワレ}ノ

痛^{イタミ}ヲ除^{ノク}キ、哀^{カナシミ}ヲ慰^{ナグサ}メ給^{タマ}ヘ。蓋^{ケダシ}主^{シユ}宰^{サイ}ヨ、爾^{ナニデ}ハ自^ジ由^{イウ}ニ瘞^{ヘウム}ラレタレドモ、欲^{ホツ}スル所^{トコロ}ヲ行^{オコナ}

フヲ能^{ヨク}シ、且^{カツ}之^{コレ}ヲ行^{オコナ}フ。

光^{クワ}榮^{エイ}主^{シユ}ハ奧^{アウ}密^{ミツ}ニ母^ベニ告^ツゲタリ、嗚^ア呼^ハ何^イ如^カニシテ慈^ジ憐^{レン}ノ淵^{フチ}ハ爾^{ナニデ}ニ隱^{カク}レタル、蓋^{ケダシ}

我^{ワレ}ハ我^ワガ造^{ゾウ}物^{ブツ}ヲ救^{スク}ハント欲^{ホツ}シテ、甘^{アマン}ジテ死^シセリ。然^{シカ}レドモ我^{ワレ}復^{フク}活^{クワツ}シ、且^{カツ}爾^{ナニデ}ヲ大^{オホ}

ナル者^{モノ}トセン、我^{ワレ}ハ天^{テン}地^チノ神^{カミ}ナレバナリ。

今^{イマ}モ、至^シ淨^{ジヤウ}ノ者^{モノ}曰^イヘリ、人^{ヒト}ヲ愛^{アイ}スル主^{シユ}ヨ、我^{ワレ}爾^{ナニデ}ノ慈^ジ憐^{レン}ヲ歌^カ頌^{ショウ}ス、主^{シユ}宰^{サイ}ヨ、我^{ワレ}爾^{ナニデ}ガ仁^{ジン}

慈^ジノ富^{トモ}ニ伏^{フス}拜^{ハイ}ス、蓋^{ケダシ}爾^{ナニデ}ノ造^{ゾウ}物^{ブツ}ヲ救^{スク}ハント欲^{ホツ}シテ、爾^{ナニデ}死^シヲ受^ウケ給^{タマ}ヘリ。救^{キウ}世^{セイ}主^{シユ}ヨ、

爾^{ナニデ}ノ復^{フク}活^{クワツ}ニ因^ヨリテ我^{ワレ}等^{シユウ}衆^{シュウ}ヲ憐^{アハレ}ミ給^{タマ}ヘ。

次^{ツギ}ニ「常^{ジョウ}ニ福^{フク}ニシテ」ニ代^{ダイ}ヘテイルモス、天^{テン}使^シノ品^{ヒン}位^イスラ見^ミルヲ得^エザル神^{カミ}ハ「聖^{セイ}

三^{サン}祝^{シュク}文^{ブン}」天^{テン}ニ在^{アイ}ス」ノ後^{ノチ}ニ小^コ讚^{サン}詞^ジ、「皆^{ミナ}來^キリテ、我^{ワレ}等^{シユウ}ノ爲^{タメ}ニ十^{ジュウ}字^ジ架^カニ釘^{キョウ}セラレシ」主^{シユ}

憐^{アハレ}メヨ、四^シ十^{ジュウ}次^ジ。何^{ナニ}ノ日^{ニチ}何^{ナニ}ノ時^{トキ}ニモ」主^{シユ}憐^{アハレ}メヨ、三^{サン}次^ジ。光^{クワ}榮^{エイ}今^{イマ}モ、「ヘルワムヨリ尊^{ソウ}ク」。

神^{カミ}父^フヨ、主^{シユ}ノ名^ナヲ以^{ヨリ}テ福^{フク}ヲ降^{クワツ}セ。司^シ祭^{サイ}「吾^ガ諸^{シヨ}聖^{セイ}神^{カミ}父^フノ祈^{イノチ}禱^{ダウ}ニ依^{ヨリ}リテ」并^{ナニ}ニ祝^{シュク}文^{ブン}、

「穢^{ケガレ}ナク誘^ユハルルナク」發^{ハツ}放^{フウ}詞^ジ。

夜^ヤ半^{ハン}課^カヲ私^シ室^{シツ}ニ歌^カフ。